

環境メッセンジャーへの道⑨—発信！伝えよう！自分のメッセージ

## 私も環境メッセンジャー！

環境問題の解決のために知ること、伝えることはとても大切なことです。

パビリオンで気づいた環境に関するメッセージを書いてください。

パビリオンを体験して感じた事、身近な環境問題に関する事、エコライフへの取り組みなど、環境に対するそれぞれの思いをメッセージにして書いてもらいました。実際に感じたことをメッセージにすることで、環境問題をより身近に、そして具体的なものとして感じてもらうと同時に、それをまわりの人々に発信し交流する「環境メッセンジャー」としての意識を高める場を作りました。

### 【企画詳細】

#### 1. 環境メッセージを書こう

来場者の方に、それぞれの「環境に関するメッセージ」をA7サイズの紙に書いていただきました。「水や森林を大切にしよう」と呼びかけるメッセージから、「ポイ捨てしない、ゴミを減らす」といった日常生活での心がけなど、様々な“環境”への考え・思いがカラフルなイラストと共に描かれました。主に小学校2年生以上を対象にした企画でしたが、もっと小さな子供たちが、時に親の助けを借りながら、覚えてばかりの字で熱心にメッセージを書いていく姿もありました。“環境”という言葉をあまり聞いたことのない子供たちや、「“環境”といわれても漠然としすぎていて何を書いていいかわからない」という方は、他のメッセージを読んだりスタッフと話したりしながら、環境を考えるきっかけをつくることができました。椅子とテーブルの用意されたメッセージコーナーは、来場者の方が休憩がてらスタッフと一対一で会話できる交流の場になりました。



大勢の方からメッセージをいただきました

#### 2. これで私も環境メッセンジャー

環境メッセージを書いた来場者の方には「環境メッセンジャーIDカード」を発行しました。これは、環境のことを考えまわりの人たちに伝える「環境メッセンジャー」としての名刺です。来場者の方は自分の活動地（出身都道府県）の書かれたカードに名前を記入し、韓国・中国からのスタッフがいる場合は、名前をハングル文字と簡体字でも表記しました。カードには、環境メッセンジャーの役割と利点、ウェブサイトの紹介もあり、来場者の方がそれを持ち帰って、今後もパビリオンで学んだことや環境メッセンジャーとしての役目を思い出してもらうことをねらいとしました。



子どもからもイラスト付きのメッセージ

### 3. 環境メッセージを伝えよう

メッセージ用紙は、東アジアで絶滅の危機に瀕する動物（パンダ、トラ、クロツラヘラサギ）を形作るパズルのピースでもありました。パビリオン内に掲げた大きな模造紙に、来場者の方の環境メッセージが一つ一つ貼られ、少しずつ動物たちの姿が現れていく様子は、人々の関心を引きました。

また、全ての環境メッセージを環境メッセンジャーサイト（<http://www.eden-j.org/msg/>）に掲載し、来場者の方が後で自分の書いたメッセージを見ることができるようになりました。環境メッセンジャーサイトとは、日本・中国・韓国のメッセンジャーが、それぞれの身の回りの環境情報をウェブ上で発信し交流するためのものです。来場者に限らず、より多くの方がこの新しい「発信」の場を活用するようになれば、環境見聞館のメッセージである「伝えることの大切さ」が人々に伝わったということになるでしょう。



いただいたメッセージは即時、ウェブにて公開しました



熱いメッセージで完成した、絶滅の危機に瀕するジャイアントパンダ



こちらは、東アジアを往来するクロツラヘラサギ



